

# 一足お先に

## 富岡の障害者授産施設で式典

# あす 成人の日

「セルブ水土舎」で行われた成人式で花束と商品券を手にする坂田さん(左)と柳沢さん



一般より一足早い成人式が11日、富岡市後賀の知的障害者授産施設「セルブ水土舎」で

行われた。新しく大人の仲間入りをしたのは、施設を利用しての同市南後賀の坂田真樹さん(20)と柳沢幸子さん(19)。式には施設利用者や父母、職員ら約45人が参加し、2人には父母から花束が贈られた。

2人は安中市出身で、富岡市にある同施設のグループホームで生活している。式では、柳沢さんが「素

晴らしい成人式で祝ってくれてありがとございます。私たちも大人の仲間入りをします。皆様、いろいろ教えてください。頑張ります」と、新成人の誓いの言葉を述べた。

乾杯の後、参加者らが次々に「おめでとうございます。頑張ってください」と祝福。最後に坂田さんが「これからは、もっと頑張って、仕事と、ホームでの自立、生活を進めていきます。仲良く仕事をしたり、遊んだりしましょう」と、お礼の言葉を述べた。

この日は、職員が作った五目飯や、シュークリーム、フルーツポンチなどをほおぼりながら、にぎやかに過ごした。2人は、「うれしい」「坂田さん」、「楽しい」(柳沢さん)と、顔を緩ませっぱなした。

施設は開設3年目で、成人式は昨年(男3人、女2人)に続いて2回目。金谷施設長は「一般の人も参加してもらえるようになる、もっと充実する」と話していた。

【松本時夫】